

第6回小川芋銭検定開催

牛久市ゆかりの画家である小川芋銭。その芸術と人物をより深く知る小川芋銭検定も、第6回目を迎えました。皆さんの挑戦をお待ちしています。ホームページでは各級の模擬・過去問題も掲載しています。

日時 10月16日(日)午後1時30分～受付、午後2時～開始

場所 市中央生涯学習センター大講座室

検定の種別・対象 【特別級】最上級合格者のみ、【最上級】

上級合格者のみ、【上級】中級合格者のみ、【中級】初級合格者のみ、【初級】どなたでも(小学生も受験できます)、

【小学生の部】小学生のみ※飛び級受験はできません。

受験料 500円(小中学生は無料)

申し込み方法 はがきに、名前、年齢、郵便番号、住所、電話番号および受験希望の検定種別を明記し、小川芋銭検定委員会事務局までお申し込みください。FAX、Eメールでの受け付けも行っています。

申込締め切り日 10月7日(金)当日必着分

申し込み・問い合わせ 小川芋銭検定委員会事務局(小川芋銭研究センター内)〒300-1223牛久市城中町1888

☎・FAX828-7985 Eメール ogawausen@ogawausen.com

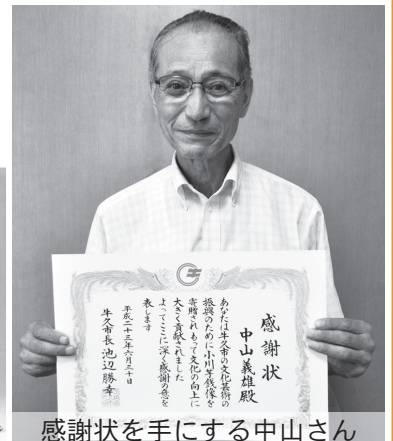
ホームページ <http://www.ogawausen.com>

小川芋銭像寄贈に感謝状

8月9日、小川芋銭研究センターに、小川芋銭のブロンズ像を寄贈して下さった水戸市在住の中山義雄氏に感謝状をお渡ししました。この像は、帝展から日展などで活躍した彫刻家の故・一色五郎氏により、芋銭没後11年目にあたる昭和24年に制作されたもので、芋銭の特徴をよく捉えています。

なお、市にはこれと同じ型の像が三日月橋生涯学習センターに展示されています。

寄贈された
小川芋銭像



感謝状を手にする中山さん

聖画 小川芋銭

小川芋銭と俳句雑誌「ホトトギス」④

芋銭は明治30年ごろから水戸や取手の俳句会に所属し、俳人として高い評価を受けており、画家であることを知らない人もいたといえます。童謡「しゃぼん玉」などの作詞で有名な野口雨情も、昭和12年6月号の俳句雑誌「ちまき」掲載の談話「小川芋銭先生と私に、本人と会う直前まで、芋銭のことは俳人として知っていたので絵を描くとは知らなかったと述べています。

芋銭が優れた俳句を詠むことができたのは、その才能と共に深い学殖があったことは言うまでもなく、そのひとつに、江戸時代の俳句に造詣が深かったことが挙げられます。

芋銭の作品中にも江戸時代に活躍した俳人たちの句を基にしたものがあり、「ホトトギス」の挿絵の中にも松尾芭蕉や与謝蕪村などの俳句を基にして描いたものが見受けられます。例を挙げれば、「のっと出る」(図1)は、

「梅が香に のっと日の出る 山路かな」 芭蕉

の句から描かれたものであり、「夏の月」(図2)は、

「河童の 恋する宿や 夏の月」 蕪村

の句が連想されます。



↑図1「のっと出る」
(明治44年2月号掲載)



↑図2「夏の月」
(明治44年7月号掲載)

小川芋銭研究センター学芸員

秦 美紀子